

1064

諸報

軍務

練習艦隊機密簿

昭和五年

自一月一日
至一月三十一日

艦隊日誌摘要報

練習艦隊司令官左近司政三

職銜氏名

施行シタル運動演習及主要操練ノ種類及其經過	麾下艦船ノ動靜	旗艦正午ノ位置	日
英艦被襲 教練 本隊被襲 行時間演習 上教練等 霧中航行教練 溺者救助教練	午前八時 徳山発 午後四時分 別府着	炬燵燈台 六〇度 六四度	一(日)
単独訓練	別府在泊	別府燈台 七八度 一六〇米	二(月)
単独訓練	同上	同上	三(月)
陣形運動 速力試験 三九六節 標柱間競争 烽火管制	柳屋八時分 別府着 午後一時 宮島着	炬燵燈台 一七度 六二度	四(火)
小掃海教練	宮島在泊	聖崎燈台 一〇度 一一〇米	五(水)
艦載水雷艇 奥會教練 発射會教 到達會教 全速走 総力機操 教練	同上	同上	六(木)

5.12.11

1069

01211

昭和
年
月
日

海軍軍令部第一班

軍令一印

東成川軍務三ノ保二支
サレタレ

授受シタル(主要ナル)	命令訓令及通報等	雑件(此欄ニハ艦隊出入港若クハ碇泊航海中ニ生セシ變異ノ概況及交際儀式敬禮等ニ關シ持記スヘキ事項等ヲ記スヘシ)
		滿 艦 飾 遠 拜 式 (明治節) 皇 禮 砲

艦隊司令長官司令長官ヲ置カザル艦隊ノ首席司令官鎮守府艦隊司令官ハ毎月五日迄ニ前月分ニ通テ海軍軍令部長ニ提出スヘシ但シ便宜ニ從ヒ數回ニ分テ提出スルコトヲ得
 航海中旗艦正午ノ位置ハ經緯度ノ外何處ヨリ何處ニ至ル航海中ト附記シ若クハ著名ノ地點ニ依リ之ヲ合セ現ハス可シ
 毎日ノ記事ハ一横線ヲ以テ區劃ス可シ

大正 年

至 自
月 月
日 日

艦隊日誌摘要報告

職 爵 氏 名

日 附	旗艦正午ノ位置	麾下艦船ノ動靜	施行シタル運動演習及主要操練ノ種類及其經過
七(金)	聖崎燈籠 一八〇度 三〇〇米	宮島在泊	單獨訓練
八(土)	同上	同上	砲臺訓練 (降雨為中止)
九(日)	同上	同上	聯合訓練
十(月)	同上	同上	觀 報 云
一一(火)	吳 二番洋標	午前八時 宮島在泊 午前九時五分 吳 着	聯合訓練 出雲 艦載水雷艇 真音教練
一二(水)	同上	吳在泊	聯合陸上教練

授受シタル(主要ナル)				保羅艦長 牙一號 假補官實務 練習細則		
命令訓令及通報等					英領長官訪 向交談 牙水雷艦隊司令 官訪向	
雜件 (此欄ニハ艦隊出 入港若クハ碇泊航海中ニ 生セシ變異ノ概況及交際 儀式敬禮等ニ關シ持記ス ヘキ事項等ヲ記スヘシ)					潜水學校長 來訪	

一 艦隊司令長官司令官ヲ置カザル艦隊ノ首席司令官鎮守府艦隊司令官ハ毎月五日迄ニ前月分ニ通テ海軍軍令部長ニ提出スヘシ但シ便宜ニ從ヒ數回ニ分チ提出スルコトヲ得

一 航海中旗艦正午ノ位置ハ經緯度ノ外何處ヨリ何處ニ至ル航海中ト附記シ若クハ著名ノ地點ニ依リ之ヲ合セ現ハス可シ

一 毎日ノ記事ハ一橫線ヲ以テ區割ス可シ

大正 年

自 月 日
至 月 日

艦隊日誌摘要報告

職 爵 氏 名

日 附	旗艦正午ノ位置	麾下艦船ノ動靜	施行シタル運動演習及主要操練ノ種類及其經過
一三(木)	吳 二番洋標	吳在泊	飛空教練
一四(金)	兵學校旗竿 二大一度 一〇四〇米	午前九時 吳 着 午前五時 江田内着	溺者救助演習 陸上競技
一五(土)	同上	江田内着泊	飛空教練 柔道・剣道 銃劍術
一六(日)	同上	同上	早操訓練
一七(月)	同上	同上	早操訓練
一八(火)	同上	午後三時 舞鶴ニ向ケ 江田内着	片柱機航行 編隊運轉演習 績調査(二回)

<p>復補生関係事項</p>	<p>（キ事項等ヲ記スヘシ）</p>	<p>（英） （米） （日） （露） （葡） （西） （他）</p>	<p>（英） （米） （日） （露） （葡） （西） （他）</p>	<p>（英） （米） （日） （露） （葡） （西） （他）</p>	<p>（英） （米） （日） （露） （葡） （西） （他）</p>	<p>（英） （米） （日） （露） （葡） （西） （他）</p>
<p>命令訓令及通報等</p>	<p>授受シタル（主要ナル）</p>	<p>練習艦隊法全 第一二號 （英） （米） （日） （露） （葡） （西） （他）</p>	<p>練習艦隊法全 命令第一四號 （英） （米） （日） （露） （葡） （西） （他）</p>	<p>練習艦隊法全 命令第一四號 （英） （米） （日） （露） （葡） （西） （他）</p>	<p>練習艦隊法全 命令第一四號 （英） （米） （日） （露） （葡） （西） （他）</p>	<p>練習艦隊法全 命令第一四號 （英） （米） （日） （露） （葡） （西） （他）</p>
<p>雑件（此欄ニハ艦隊出入港若クハ碇泊航海中ニ生シシ變異ノ概況及交際儀式敬禮等ニ關シ持記ス）</p>	<p>（英） （米） （日） （露） （葡） （西） （他）</p>	<p>（英） （米） （日） （露） （葡） （西） （他）</p>	<p>（英） （米） （日） （露） （葡） （西） （他）</p>	<p>（英） （米） （日） （露） （葡） （西） （他）</p>	<p>（英） （米） （日） （露） （葡） （西） （他）</p>	<p>（英） （米） （日） （露） （葡） （西） （他）</p>

艦隊司令長官司令長官ヲ置カザル艦隊ノ首席司令官鎮守府艦隊司令官ハ毎月五日迄ニ前月分ニ通テ海軍軍令部長ニ提出スヘシ但シ便宜ニ從ヒ數回ニ分チ提出スルコトヲ得

航海中旗艦正午ノ位置ハ經緯度ノ外何處ヨリ何處ニ至ル航海中ト附記シ若クハ著名ノ地點ニ依リ之ヲ合セ現ハス可シ

毎日ノ記事ハ一横線ヲ以テ區劃ス可シ

大正 年

自 月 日
至 月 日

艦隊日誌摘要報告

職 階 氏 名

日 附	旗艦正午ノ位置	麾下艦船ノ動靜	施行シタル運動演習及主要操練ノ種類及其經過
一九(水)	川尻岬燈台 四三度 二九度	自江田内 至舞鶴 祝海中	聯合測的教練 霧中射擊 飛艇射擊 編隊運動 續調査(前)
二〇(木)	舞鶴 着洋標	青。特 舞鶴着	出雲 戴炭 (七。嗽)
二一(金)	同上	舞鶴在泊	八雲 戴炭 (七。嗽)
二二(土)	同上	同上	
二三(日)	宮津 電燈會社煙突 三四三度 三四三度	青。特 舞鶴着 午後。特三。分 宮津着	溺者救助教練 單獨訓練
二四(月)	同上	宮津在泊	

<p>授受シタル(主要ナル)</p>		<p>練習艦隊法 令第三號 (工作規程)</p>			<p>達拜公 (新嘗祭)</p>	
<p>命令訓令及通報等</p>	<p>雑件 (此欄ニハ艦隊出入港若クハ碇泊航海中ニ生セシ變異ノ概況及交際儀式敬禮等ニ關シ持記スヘキ事項等ヲ記スヘシ)</p>	<p>大社中航行ニ際シ達拜公ヲ行フ 伏見宮降儀 王邸下向儀 皇宮御見合官 機關長ト 王邸御長ト 訪問交換 西機關長 本機以下ノ機 餐ニ被招待</p>	<p>海軍大臣御禮 餐會奉職 被招待</p>	<p>機關長 滿艦飾 皇礼砲</p>		
<p>候補生関係事項</p>			<p>少尉候補生 司令官御禮 司令官御禮</p>	<p>機關長御禮 司令官御禮</p>		

一 艦隊司令長官司令長官ヲ置カザル艦隊ノ首席司令官鎮守府艦隊司令官ハ毎月五日迄ニ前月分ニ通テ海軍軍令部長ニ提出スヘシ但シ便宜ニ從ヒ數回ニ分チ提出スルコトヲ得

一 航海中旗艦正午ノ位置ハ經緯度ノ外何處ヨリ何處ニ至ル航海中ト附記シ若クハ著名ノ地點ニ依リ之ヲ合セ現ハス可シ

一 毎日ノ記事ハ一横線ヲ以テ區割ス可シ

大正 年 艦隊日誌摘要報告

自 月 日 至 月 日 職 銜 氏 名

日 附	旗艦正午ノ位置	麾下艦船ノ動靜	施行シタル運動演習及主要操練ノ種類及其經過
二五(火)	宮津 電灯會社標 三四三度 三四〇米	午後五時 鎮海 宮津	單獨訓練
二六(水)	同上	自宮津 至鎮海 龍海中	陣形運動 聯合演習 種教練 夜間訓練 聯合射擊
二七(木)	鎮海 一番浮標	五二一時 鎮海	溺者救助演習
二八(金)	同上	鎮海左泊	單獨訓練
二九(土)	同上	同上	觀兵 單獨訓練
三〇(日)	同上	同上	聯合短艇競

授受シタル(主要ナル)	命令訓令及通報等	雑件 (此欄ニハ艦隊出入港若クハ碇泊航海中生セシ變異ノ概況及交際儀式敬禮等ニ關シ持記ス)	ヘキ事項等ヲ記スヘシ	後補室關係事項
				主計室後補室 主計室長官 後補室長官 後補室長官
		日本海 戦死者慰霊 為進拜式 施行		
		(一) 鎮守司令官 要害司令官 ト訪問交際 (二) 鎮守司令官 本隊以下 餐之招待 (於官邸)		
				右種後補室 鎮守司令官 同僚司令官
		鎮守司令官 要害司令官 於予餐之招待 (於旗艦)		

一 艦隊司令長官司令長官ヲ置カザル艦隊ノ首席司令官鎮守府艦隊司令官ハ毎月五日迄ニ前月分ニ通テ海軍軍令部長ニ提出スヘシ但シ便宜ニ從ヒ數回ニ分テ提出スルコトヲ得

一 航海中旗艦正午ノ位置ハ經緯度ノ外何處ヨリ何處ニ至ル航海中ト附記シ若クハ著名ノ地點ニ依リ之ヲ合セ現ハス可シ

一 毎日ノ記事ハ一横線ヲ以テ區割ス可シ

海軍省

第一班

軍務局

類及其經過 施行シタル運動演習及主要操練ノ種類	旗艦正午ノ位置 鎮海 一着洋標	麾下艦船ノ動靜 鎮海在泊	附 一月	昭和五年 自五月一日 至五月三十一日 艦隊日誌摘要報告 練習艦隊司令官左近司政三
蘇合中揚海教練 三水操練	鎮海 猪島 三八度一九七。米	午前八時鎮海内 港内鋪地ノ港不 二更更又 一更	二(火)	職 符 氏 名
船載水雷艇更會 教練充射 即日揚收其地 成績良好	同 上	鎮海港不在泊	三(水)	鹿目
一軍艦訓練 二教練充射練習 會	同 上	午前八時 仁川向鎮海充	四(木)	自鎮海 至仁川 航海中 知三島 六五度五。一星
一英艦被員松教練 二聯合團的教練	同 上	同 上	同 上	同 上

軍務局安
 14
 月 日發

鹿目

6.1.18
 日發

<p>授受シタル(主要ナル)</p> <p>命令訓令及通報等</p>	<p>四令第一二七号 (管隊中國沿岸出航 中警備兼任務) 内令第一三三(号) (艦隊編成改定件) 内令第一三四(号) (通信検査及國文件) 内令第一三九(号) (艦内編成改定件) 内令第一三四(号) (概算運費實施区分)</p>	<p>雜件 (此欄ニハ艦隊出 入港若クハ碇泊航海中ニ 生セシ變異ノ概況及交際 儀式敬禮等ニ關シ持記ス ヘキ事項等ヲ記スヘシ)</p>	<p>鎮海要港自來 來訪</p>	<p>復捕生業係事項</p>	<p>中福海實習</p>	<p>教練者射實習</p>	<p>統管見學 教練者射研究會</p>	<p>聯合演說信郵教 練</p>
------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------	----------------------	----------------	--------------	---------------	-------------------------	----------------------

- 一 艦隊司令長官司令長官ヲ置カザル艦隊ノ首席司令官鎮守府艦隊司令官ハ毎月五日迄ニ前月分ニ通テ海軍軍令部長ニ提出スヘシ但シ便宜ニ從ヒ數回ニ分テ提出スルコトヲ得
- 一 航海中旗艦正午ノ位置ハ經緯度ノ外何處ヨリ何處ニ至ル航海中ト附記シ若クハ著名ノ地點ニ依リ之ヲ合セ現ハス可シ
- 一 毎日ノ記事ハ一橫線ヲ以テ區割ス可シ

大正 年				職 爵 氏 名
至 自 月 月 日 日				
艦隊日誌摘要報告				職 爵 氏 名
日 附	旗艦正午ノ位置	麾下艦船ノ動靜	施行シタル運動演習及主要操練ノ種類及其經過	
五 (金)	自領海 仁川 尾島 仁川 尾島 八口島 宋島 一五八度。四七度	自領海 仁川 尾島 仁川 尾島	一 聯合演習信號 二 霧中航行教練 三 教練	
六 (土)	仁川 尾島 二四七度 一六〇度	午前十時半 仁川 尾島	單獨訓練	
七 (日)	同上	仁川 尾島	探照灯照射	
八 (月)	同上	同上	單獨訓練	

<p>授受シタル(主要ナル)</p> <p>命令訓令及通報等</p>	<p>雑件 (此欄ニハ艦隊出入港若クハ碇泊航海中ニ生セシ變異ノ概況及交際儀式敬禮等ニ關シ持記ス)</p> <p>(ヘキ事項等ヲ記スヘシ)</p>		<p>一 仁川村以下ノ訪問交換</p> <p>二 村ノ主催晚餐會ニ本職以下ノ席</p>	<p>一 本職朝鮮總督及朝鮮軍司令官訪問</p> <p>二 朝鮮總督本職以下ノ晚餐招待會(官印)</p> <p>三 軍見合ニ本職及晚餐招待總官(印)</p>
<p>一 本職朝鮮總督及朝鮮軍司令官</p> <p>二 朝鮮總督本職以下ノ晚餐招待會(官印)</p> <p>三 軍見合ニ本職及晚餐招待總官(印)</p>	<p>一 仁川村以下ノ訪問交換</p> <p>二 村ノ主催晚餐會ニ本職以下ノ席</p>	<p>一 仁川村以下ノ訪問交換</p> <p>二 村ノ主催晚餐會ニ本職以下ノ席</p>	<p>授受シタル(主要ナル)</p> <p>命令訓令及通報等</p>	

一 艦隊司令長官司令官ヲ置カザル艦隊ノ首席司令官鎮守府艦隊司令官ハ毎月五日迄ニ前月分ニ通テ海軍軍令部長ニ提出スヘシ但シ便宜ニ從ヒ數回ニ分テ提出スルコトヲ得

一 航海中旗艦正午ノ位置ハ經緯度ノ外何處ヨリ何處ニ至ル航海中ト附記シ若クハ著名ノ地點ニ依リ之ヲ合セ現ハス可シ

一 毎日ノ記事ハ一横線ヲ以テ區割ス可シ

大正 年

自 月 日
至 月 日

艦隊日誌摘要報告

職 階 氏 名

日 附	旗艦正午ノ位置	麾下艦船ノ動靜	施行シタル運動演習及主要操練ノ種類及其經過
九 (火)	仁川小月尾島 二四七度一六〇米	仁川在泊	単独訓練
一〇 (水)	自仁川解海平 至大連島新台 二七度七厘	午前七時 大連向仁川	一霧中航行 二洋上文書交換 三解合部照射教練 四編隊運轉演習 五詢査
一一 (木)	同日 小三山島 六七度一五厘	午後二時 大連着	単独訓練
一二 (金)	大連 茅田埠頭繫留	大連在泊	同上

授受シタル(主要ナル)	命令訓令及通報等	雑件 (此欄ニハ艦隊出入港若クハ碇泊航海中ニ生セシ變異ノ概況及交際儀式敬禮等ニ關シ持記スヘキ事項等ヲ記スヘシ)	候補生関係事項
		<p>一 朝鮮總督以下ヲ午餐ニ招待ス 二 朝鮮總督退艦ノ際ハ除同官ニ對シ禮砲施行</p>	
		<p>午後一時正午一黃海戰ニ死者無 靈ヲ為送拜式施行 二 入港後民政署長大連市長滿鐵別總裁來訪</p>	
		<p>一 民政署長大連市長滿鐵別總裁來訪 二 滿鐵別總裁本廠以下晚餐ニ招待</p>	<p>聯合旗幟信を教練 又連見學</p>

- 一 艦隊司令長官司令官ヲ置カザル艦隊ノ首席司令官鎮守府艦隊司令官ハ毎月五日迄ニ前月分ニ通テ海軍軍令部長ニ提出スヘシ但シ便宜ニ從ヒ數回ニ分チ提出スルコトヲ得
- 一 航海中旗艦正午ノ位置ハ經緯度ノ外何處ヨリ何處ニ至ル航海中ト附記シ若クハ著名ノ地點ニ依リ之ヲ合セ現ハス可シ
- 一 毎日ノ記事ハ一横線ヲ以テ區劃ス可シ

大正 年

自 月 日 至 月 日

艦隊日誌摘要報告

職 爵 氏 名

日 附	旗艦正午ノ位置	麾下艦船ノ動靜	施行シタル運動演習及主要操練ノ種類及其經過
一三(五)	大連 第四埠頭繫留	大連在泊	一陸戰隊大連裡社 忠重塔ニ参拜 ニ式役對外發令
一四(日)	同上	同上	單務訓練
一五(月)	同上	同上	同上
一六(火)	旅順 老虎崖灯台 三八度九六・東	午前六時半大連発 午前十時旅順着	一單務訓練 ニ白玉山ニ参拜

<p>授受シタル(主要ナル)</p> <p>命令訓令及通報等</p>	<p>練習艦隊司令部 號 (朱印隊編制改正ノ 件)</p>
<p>雑件(此欄ニハ艦隊出 入港若クハ碇泊航海中ニ 生セシ變異ノ概況及交際 儀式敬禮等ニ關シ持記ス ヘキ事項等ヲ記スヘシ)</p>	<p>民政部署長市長 合主催晩餐會ニ 本職以下出席</p>
<p>候補生関係事項</p>	<p>甘井子森榮場 見學</p>
<p>ヘキ事項等ヲ記スヘシ)</p>	<p>金州南方面見學</p>
<p>授受シタル(主要ナル)</p> <p>命令訓令及通報等</p>	<p>二周東長官軍司令部 訪問 三周東長官來訪 三周東長官退艦 陸札確施行 四長官軍司令部 合本職以下職員 招待</p>
<p>ヘキ事項等ヲ記スヘシ)</p>	<p>氏署政署長市長 及滿鐵別總裁以 下夕餐會之招待 (於獲歟)</p>
<p>ヘキ事項等ヲ記スヘシ)</p>	<p>甘井子森榮場 見學</p>
<p>ヘキ事項等ヲ記スヘシ)</p>	<p>甘井子森榮場 見學</p>

一 艦隊司令長官司令長官ヲ置カザル艦隊ノ首席司令官鎮守府艦隊司令官ハ毎月五日迄ニ前月分ニ通テ海軍軍令部長ニ提出スヘシ但シ便宜ニ從ヒ數回ニ分テ提出スルコトヲ得

一 航海中旗艦正午ノ位置ハ經緯度ノ外何處ヨリ何處ニ至ル航海中ト附記シ若クハ著名ノ地點ニ依リ之ヲ合セ現ハス可シ

一 毎日ノ記事ハ一横線ヲ以テ區割ス可シ

大正 年

自 月 日
至 月 日

艦隊日誌摘要報告

職 銜 氏 名

日 附	旗艦正午ノ位置	麾下艦船ノ動靜	施行シタル運動演習及主要操練ノ種類及其經過
一七(水)	旅順 老虎尾灯台 一三八度九六米	午後九時三十分 青島向旅順着	一自玉山島着拜 二概周待機法 三灯火警管成管制 四無灯出港 五警戒航行
一八(木)	北緯三七度三四七分 東經一三度四六分	自旅順 航海中 至大連	一警戒航行 二海上會合 三陣形運動 四小艦砲實包射 五編隊運動成績 六調査
一九(金)	青島發電所火煙突 一六度二七〇米	午前九時五十分 青島に着	一第六駆逐隊下 聯合教練前線 得海 二青島神社参拜 三單艦訓練
二〇(土)	同上	青島在泊	單艦訓練

授受シタル(主要ナル)	命令訓令及通報等	雑件(此欄ニハ艦隊出入港若クハ碇泊航海中生セシ變異ノ概況及交際儀式敬禮等ニ關シ持記スヘキ事項等ヲ記スヘシ)	復補生員係事項	戦蹟見字
授受シタル(主要ナル)	命令訓令及通報等	雑件(此欄ニハ艦隊出入港若クハ碇泊航海中生セシ變異ノ概況及交際儀式敬禮等ニ關シ持記スヘキ事項等ヲ記スヘシ)	復補生員係事項	戦蹟見字
授受シタル(主要ナル)	命令訓令及通報等	雑件(此欄ニハ艦隊出入港若クハ碇泊航海中生セシ變異ノ概況及交際儀式敬禮等ニ關シ持記スヘキ事項等ヲ記スヘシ)	復補生員係事項	戦蹟見字
授受シタル(主要ナル)	命令訓令及通報等	雑件(此欄ニハ艦隊出入港若クハ碇泊航海中生セシ變異ノ概況及交際儀式敬禮等ニ關シ持記スヘキ事項等ヲ記スヘシ)	復補生員係事項	戦蹟見字

艦隊司令長官司令長官ヲ艦カザル艦隊ノ首席司令官鎮守府艦隊司令官ハ毎月五日迄ニ前月分二通ヲ海軍軍令部長ニ提出スヘシ但シ便宜ニ從ヒ數回ニ分チ提出スルコトヲ得

航海中旗艦正午ノ位置ハ經緯度ノ外何處ヨリ何處ニ至ル航海中ト附記シ若クハ著名ノ地點ニ依リ之ヲ合セ現ハス可シ

毎日ノ記事ハ一横線ヲ以テ區割ス可シ

大正 年

至 自
月 月
日 日

艦隊日誌摘要報告

職 銜 氏 名

日 附	旗艦正午ノ位置	麾下艦船ノ動靜	施行シタル運動演習及主要操練ノ種類及其經過
二一(日)	青島 電報新大煙突 一六八度三七。三末	青島在泊	單艦訓練
二二(月)	自青島航海中 五上海航海 北緯三五度五二分 東經一二度四二分	午前九時三十分 上海三向ヶ青島	同上
二三(火)	北緯三五度五二分 東經一二度三七分	自青島航海中 五上海	二合戰準備戰術 教練及戰術中 防火防水及航空機 防禦教練 二聯合團的教練 三聯合各先信號 教練 四編隊運動成績 調査
二四(水)	北緯三五度四五分 東經一二度四八分	午前三時四十分 上海着	

<p>授受シタル(主要ナル)</p> <p>命令訓令及通報等</p>				
<p>雑件 (此欄ニハ艦隊出入港若クハ碇泊航海中生セシ變異ノ概況及交際儀式敬禮等ニ關シ持記スヘキ事項等ヲ記スヘシ)</p>	<p>一 總領事ニ遊可令 官中國司令官以下 ヲ午餐ニ招待 (於旗艦) 二 第一遊外艦隊司令 官本職以下ヲ艦 餐ニ招待 三 中國司令官以下及 胡市長ヲ艦觀瀾 手帳以下招待</p>			<p>一 第一遊外艦隊司令官 總領事來訪 ニ代理分使總領事 ヲ訪問 二 第一遊外艦隊司令 官本職以下ヲ艦 餐ニ招待</p>

候補官関係事項

- 一 艦隊司令長官司令長官ヲ置カザル艦隊ノ首席司令官鎮守府艦隊司令官ハ毎月五日迄ニ前月分ニ通テ海軍軍令部長ニ提出スヘシ但シ便宜ニ從ヒ數回ニ分テ提出スルコトヲ得
- 一 航海中旗艦正午ノ位置ハ經緯度ノ外何處ヨリ何處ニ至ル航海中ト附記シ若クハ著名ノ地點ニ依リ之ヲ合セ現ハス可シ
- 一 毎日ノ記事ハ一横線ヲ以テ區劃ス可シ

大正 年

自 月 日
至 月 日

艦隊日誌摘要報告

職 階 氏 名

日 附	旗艦正午ノ位置	麾下艦船ノ動靜	施行シタル運動演習及主要操練ノ種類及其經過
二五(木)	上海 帝國領事館前 日本郵船碼頭	上海在泊	
二六(金)	同上	同上	
二七(土)	同上	同上	
二八(日)	S.E KNOLL 一八四度、九〇、未	午前七時五分 上海 午後二時五分 上海 午後三時五分 上海 午後四時五分 上海 午後五時五分 上海 午後六時五分 上海 午後七時五分 上海 午後八時五分 上海 午後九時五分 上海 午後十時五分 上海 午後十一時五分 上海 午後十二時五分 上海	聯合旗號信標教 練 編隊運動成績 調査(五節)

授受シタル(主要ナル)	命令訓令及通報等	雑件(此欄ニハ艦隊出入港若クハ碇泊航海中ニ生セシ變異ノ概況及交際儀式敬禮等ニ關シ持記スヘキ事項等ヲ記スヘシ)	備補生関係事項	上海見學	同上	
				一 上海市長張輝 二 訪問交換 三 代理公使本職以下 四 晚餐招待	一 代理公使及一連自 全官ヲ午餐招待 待(於禮艦) 二 在留官民ヲ引下 ホシ招待 (於禮艦) 三 第一連自艦隊司令 全官以下 晚餐 招待	

一 艦隊司令長官司令長官ヲ置カザル艦隊ノ首席司令官鎮守府艦隊司令官ハ毎月五日迄ニ前月分二通ヲ海軍軍令部長ニ提出スヘシ但シ便宜ニ從ヒ數回ニ分チ提出スルコトヲ得

一 航海中旗艦正午ノ位置ハ經緯度ノ外何處ヨリ何處ニ至ル航海中ト附記シ若クハ著名ノ地點ニ依リ之ヲ合セ現ハス可シ

一 毎日ノ記事ハ一横線ヲ以テ區割ス可シ

大正 年		自 月 日	至 月 日	職 符 氏 名
艦隊日誌摘要報告				
日 附	旗艦正午ノ位置	麾下艦船ノ動靜	施行シタル運動演習及主要操練ノ種類及其經過	
二九(月)	北緯三二度三二分 東經一八度二八分	自上海 航海軍 至佐世保	編隊運転成績調査	
三〇(火)	佐世保 五番浮標	午前八時 佐世保着	單獨訓練	
三一(水)	同上	同上	新年準備	

<p>授受シタル(主要ナル)</p> <p>命令訓令及通報等</p>		<p>機務部羽根隊命令 第六節 機務部新實施要領 件</p>	
<p>雑件(此欄ニハ艦隊出入港若クハ碇泊航海中ニ生セン變異ノ概況及交際儀式敬禮等ニ關シ持記ス)</p> <p>(キ事項等ヲ記スヘシ)</p>		<p>二年前の將ヲ年前(將ニ改ム) (中史標準特使用) 二佐領長官佐之教長ト訪問交換 三佐領長官本職以下ヲ晚餐ニ招待</p>	
<p>候補生関係事項</p>	<p>旗旗信御教録</p>	<p>二佐領長官ニ同便割示ヲ 海軍 二軍艦施設見學</p>	<p>針尾電信所觀望隊見學</p>

- 一 艦隊司令長官司令長官ヲ置カザル艦隊ノ首席司令官鎮守府艦隊司令官ハ毎月五日迄ニ前月分ニ通テ海軍軍令部長ニ提出スヘシ但シ便宜ニ從ヒ數回ニ分テ提出スルコトヲ得
- 一 航海中旗艦正午ノ位置ハ經緯度ノ外何處ヨリ何處ニ至ル航海中ト附記シ若クハ著名ノ地點ニ依リ之ヲ合セ現ハス可シ
- 一 毎日ノ記事ハ一横線ヲ以テ區割ス可シ

軍令部

3 20 永
受命

秘

三ノ四五

昭和六年四月三十日坡西土旗艦出雲

第一課長
第二課長

練習艦隊司令官

第三課長
香港地事情調査報告件提出

左記各寄港地ニ於テ調査事項概要別紙ノ通

香港、新嘉坡、亞丁、坡西土(後達)古倫母(後送)

(詳細各都報告軍令部第三班長宛送付ス)

(別紙添)

(終)

海軍

6.5.25
月 日發

外國事情調査報告

香港

一、航空關係

(1) 漢德飛行場

(一) 同飛行場專屬ノ飛行機ノ有レ且ハ確實ナルヲラザルモ

Hanley 田口 飛行機ノ使用中ナルコト確實ナルカ如シ

(二) 同飛行場ハ航空母艦「ハリス」ノ飛行機格納所又ハ

着陸場トシテ主用中ナリ但シ同艦ハ毎週二回(月火)

灣外ニ出動シ飛行機ト聯合訓練ヲ勵行シツク

アット云フ

(三) 現在同飛行場ニ格納中ノモノハ總計十四機内小

型軍八機 大型(三人乗)六機内二機破損セリ

(四) 格納庫ハ五棟(臨時ハラック)偵察機十五、又ハ戦

海軍

二、雜件

開機ニ格納可能、附属小棟ニ棟(先年支那
派書軍ノ一時使用宿舎セシモノ)埋立地ノ東端ニ
「スベリ」アリ其他永久施設ナシ

(一)「ハミス」ニテハ着艦用「ワイヤー」ヲ使用セザルモノ如ク總
テ取外シアリ

(二)在東洋ノ一萬噸級巡洋艦ニ追テ凡テ「カタハルト」
(起倒式)ヲ裝備スル由「サフオク」モハ目下輸送
中ナリト云フ

(三)一萬噸級巡洋艦ニテハ遠距離射撃ノミ標的ヲ
使用ス

(四)「ハミス」ニ目下飛行機十二機ヲ搭載シ戦時ニ
機ニ増加スト稱ス目下飛行將校(パイロット)十三名アリ

海軍

(五)「メドウエー」(潜水)ノ居住設備ハ良好ニシテ我々艦
 ニ比較シ云泥ノ相違アリ潜水艦十八隻分ニ對ス
 ル母艦トシテノ居住設備ハ倉庫及工作工場ヲ有
 ス(彙表排水量一萬五千噸、實際降二萬噸、速力
 十六節ト稱ス)

三、水道

從來香港島内ニ七個ノ貯水池アリ也、ヨリ中内及艦
 船ニ給水セシガ早天ノ降不足セシ處、一九三〇年七月九
 日貯水池ニ海底ニ鉄管ヲ通ジ給水ヲ開始シ從
 來ノ不安ヲ一掃セリ

(終)

海軍

外國事情調査報告

新嘉坡

一、軍港施設

(一) 鎮守府工廠船渠工事 建設ノ基礎工事ナル埋立其
 他ノ土木工事ハ依然舊有ノ進捗中ナルコト確實ナルモ
 其程度又不詳ナリ且下使用人夫ハ印度人ノミテ千餘
 名ナリト云フ(支那人等ハ一切傭入セズト云フ) 關係士官ノ
 官舎ラシキモノ五、六棟、職工(人夫)合シ宿舎ラシキ建物
 等構内ノ一端ニ數見ス

(二) 航空隊

(1) 位置、"ホジナル"河ト"セクタ"河ハ同ニシテ其ノ北西部ニアリ
 北ノハ"オールドスツリート"ニ面スル外他ニ三方ハ護國園ニ圍ル
 (2) 廣サ格納庫等場内ノ状況別紙

海軍

(三) 現在員士官二十名下士官兵二百四十名 (同隊士官と言ナリ)
重油、石炭、淡水

(1) 燃料施設

實見レ得タル重油「タンク」ハ「マンダイ」及「ハシルバンジヤン」ノ
ニテ所ニシテ其ノ數ハ附近ヲ通過シ自測シタルニシテハ精確
ニ計測シ得ズ在留邦人「タンク」工事ニ従事セル支那人
或ハ番人「インド」人等ヲ介シテ測者ニ「マンダイ」ニ其ノ
數三千八個工事中モノ更ニ二個、一個ノ容量約八千
噸、「ハシルバンジヤン」ニ四十二個、一個ノ容量約六千噸、
ト見ルヲ得ベシ

重油「タンク」連絡管ハ露出管ニテ目測スルニ徑約八吋
ニシテ「ケツルバー」及海軍根拠地何レ迄給油可能
ナリ尚海軍根拠地内ニ重油「タンク」設置ノ計畫

海軍

アル如キモ未着年ナルカ如シ

石炭ハ「ケツベルバー」ノ對岸「プロフラニ」ノ現量ハ不
明ナルモ「ケツベルバー」ノ岸壁ニ添テ約十萬噸ノ貯
炭量アリ

(四) 清水

島内自貯水池ノ外ニ「ジョホール」州「グムプライ」ノ貯
水池ヨリ給水シツラアリ水管ノ径約一尺、高根様地
内ノ貯水池ニ関シテハ詳細不明ナリ

(四) 要塞

「シヤンギー」河ノ(S. Changi)ノ西ノ高地ニ小口徑砲(六サ
不明)三門、探照燈一台、裝備シアルコト確實ナリ但シ
既報ノ十八吋砲ハ何レニ裝備セシカハ全ク不明ニシテ此ノ西
三年斯ノ巨砲ノ運搬又ハ裝備ニ関シ知聞セル人ナレト云フ

海軍

(註) 浮橋渠ノ附近ニ百五十噸位ノ起重機アリ十八吋砲ノ如キ巨大ナルモ同船渠ノ附近ニ運ビ同所ヨリ直ニ軍港内ニ陸揚セシニアラザルカ。

(五) 軍用鐵道

略別圖ノ如ク新嘉坡島ノ西方ヲ南北ニ縱貫セルコト確實ナリ即南ハ「ケンペルハーバー」附近ヨリ起リ大伴現鐵道ニ並行シ北方ニ至リ軍港内ニ終ルモト認ム而シテ北半部ハ已ニ完成土砂ヲ運搬セルモノ南半部ハ未ダ軌道ノ敷設完了セス但シ「ラントラント」ヨリノ人ノ岐線ハ用地内ニ至リ運轉中ナリ

(六) 無線電信

内容不明ニ付目下在留邦人ニ調査方依頼シテ通知ヲ得テ追記ス

海軍

(七) 雜件

(1) 新軍港ノ入マタル「ジョホール」河口ノ東側ニアル三五公司護
 護園ノ「ベンカル」高地(六九呎)(軍港ヨリハ約十五哩ヲ隔ル
 モ附近ニテハ取高地)ニ對シ近年英國官憲ノ着目甚ク
 戒殊ニ嚴重ナリ時々軍車等ヲ派遣シテ調査
 警戒スル所アリト云フ(同園監督高田某氏ニ話)而シ
 テ同高地ノ南東ニ於ケル一段下降セル所又同地橋
 直上ニアル標高約三十米ノ高地ハ同軍港入口ニ對シ
 防備上ニ至ニ重要ナル所已ニ測量ヲ済シ夫ノ標
 識ヲ設置シアリ他日同高地ノ買収ハ必生起スルモ
 ノニシテ其ノ交渉ハ如何ナル形式ヲ以テ顯ハルルニセヨ(同地
 ハ「ジョホール」政府モナリ)軍港施設ノ進捗ニ密接
 關係アルモノナレバ同公司ノ主權者ト豫メ氣取ラ通シ

海軍

置ク要アリ又同公司ノ護謨園ニテ全ク軍港對岸ニ
位置スルモノアリト云フ充分調査ニ要アリト認ム

(四)「テツコン」島(シヨホル河口入口)ハ最近官有地(陸軍用地)

ニ買収セシ其西半ハ已ニ一般人ノ出入ヲ禁止シテ居レリ

「ラビン」島ノ陸軍用地ナルコト亦然リ

(三)「シヨホル」河口ヨリ鉄陸橋ニ至ル新軍港附近ノ水路ハ

淺所ヲ浚渠シ且航路標識ヲ設ケ航路安全ヲ圖

リ居レリ(海圖ニテ燈臺數個アリ)

(二) 情報通任者

吉田好漢(三十五歳軍医校卒業三井物産勤務) 煤

報ニ趣味ヲ有ス尚同人熱心ノ自動車運轉手馬

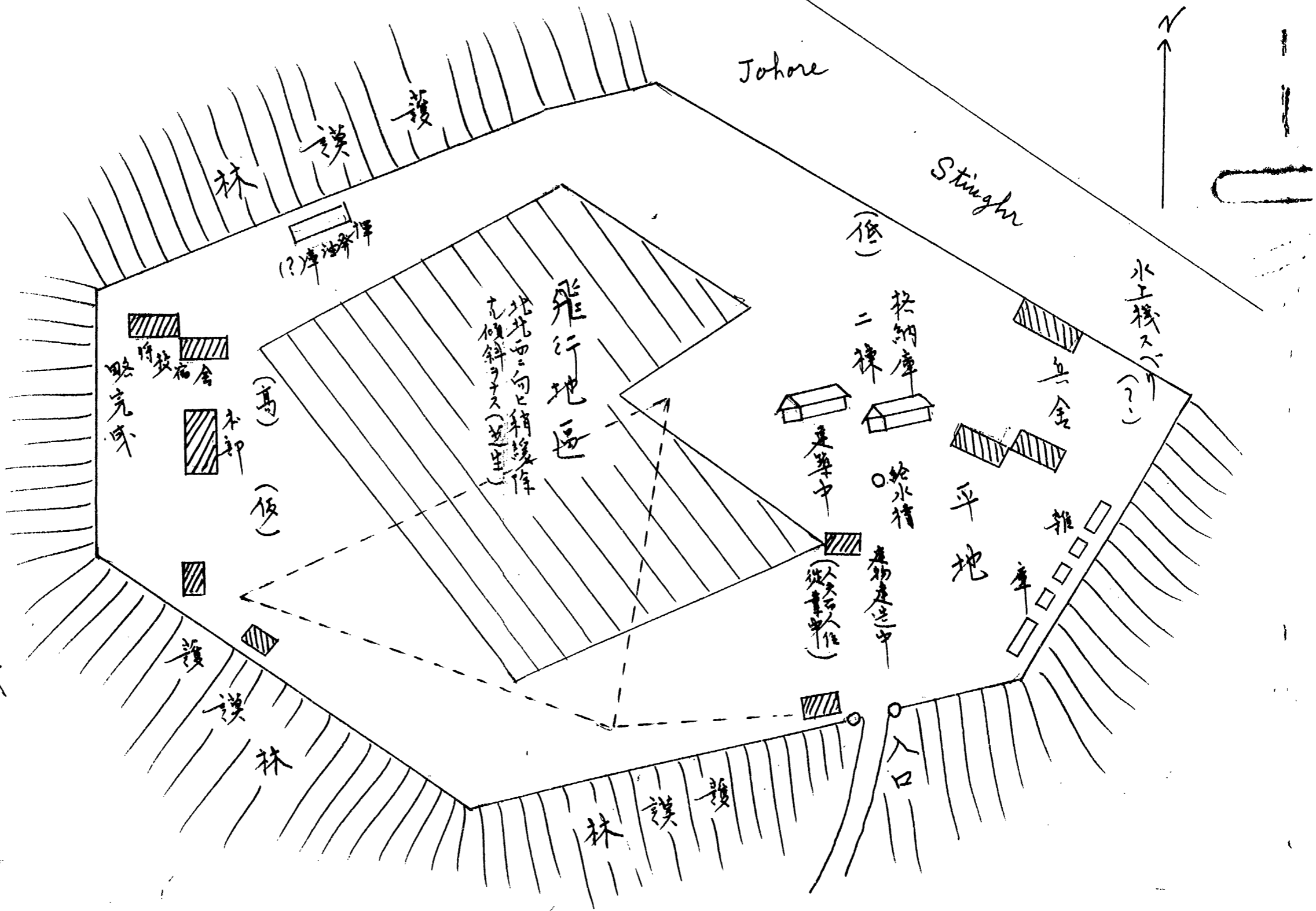
來人(妻日本人)ハ日本人ノ好意ヲ有ス下働トシテ利

用ニ得可シ

海軍

一、所在
 二、廣さ
 三、飛行機
 四、人員

カンゴール河トセレー河トの間ニ狭マレル地域
 一見シタル所三四千畝坪ニ見ユ。但シ北方ヨリホール海峽ニ面セリ部
 分ハ低クレテ明チラス。(大村航空隊住)(公稱七五萬坪)
 飛行機(ツラレト)五〇馬力(五
 音響機 機數不明
 士官約二〇。 下士官約二四〇。



外國事情調査報告 (二一四一)

五下

一、空軍

(1) 概要

地方警備並に交通上飛行機利用の目的あり以テ漸次空軍の勢力ヲ増加シ陸軍の要塞關係ヲ除キ撤退セリ
 並利此重各地に於ケル着陸場ハ十數ヶ所(所名不明)ニ
 達シ軍事上及行政上重要ナル地點(主トシテ國境及港
 灣市)ニ概シ着陸場アリト云フ(空軍指揮官ノ言及地圖
 ニ見ル)

(2) 航空隊施設ノ現状

格納庫及其他建築物ハ殆ド永久ノ建造物ニ
 改造セラレタリ又飛行場ニ飛行機修理機關ヲトラク

海軍

二 裝備之各地ニ急派出来ルニ
詳細別紙 様準備シテ

二 守備兵及砲台 詳細別紙

從來在任セル英歩兵二中队(五百人)ハ已ニ撤退シ砲兵一
中队(二百名)内士官以上九名ヲ残ス

砲台港口南側、丘上ニ所ニ十五種砲各二門、高角砲二門
(外隊備砲二門)及禮砲用八種砲四門ヲ裝備ス

三 雜件

(一) 港別ノ改正 内港ニ禮砲奔砲、降ニ市街ニ面セラル
艦倒尾ヲ使用スルコト

(二) 駐劄行政官ハ一九二八年以來所任陸海空軍ノ指揮
官ヲ兼テ禮砲(十三発)ヲ受ケル資格ヲ附與セラレタリ

(三) 港湾状況及補給ノ状況別紙参照

海軍

日無線電信

既報より諸設備一段に完成セルモノト認め
詳細別紙

(終)

海軍

亞丁航空隊調査報告 (六四二)

大正十五年夏練習艦隊航空関係調査報告ト異ル

點、ミヲ記ス

一、一般註ニ編輯

(一) 本航空隊ハ第八畫間爆撃中隊ニシテ英空軍ニ

屬シ隊長ハ空軍大佐マクリンナリ、

隊長ハ亞丁駐劄行政官、指揮ヲ任ス

(二) 中隊ハ三個小隊ヨリナリ各小隊毎ニ格納庫ヲ別ニス

(三) 飛行隊長ハ少佐ヲ小隊長ハ大尉ヲ以テ之ニ充ツ

(二) 人員

總數 英人一八〇名(西准士官以上五名)土人兵約二〇〇名(雜種)

操縦者、士官九名、下士官四名

機械數

海軍

常用機一二機、補用機四機(空軍編制表三一三機トアルモ飛行隊長官迄ニ施設ヲ多ク四機程及ラセト推察ス)
別ニ練習機一機ヲ有ス

二 諸施設

(一) 飛行場

従来よりモ北方ニ約四〇。米擴張シタルカ如シ尚今後モ必要ニ應ジ何レノ方向ニモ相當擴張ノ餘積アリ

飛行場南隅ニ格納庫西方ニ射撃場ヲ有ス但シ

爆撃場ノ如キモノ認メズ(附近ニ適當ナル沙漠アルタメカ?)

(四) 格納庫 其ノ他

旧格納庫ノ西方ニ三棟ノ假設格納庫アリ各格納庫ニ三四機收容可能(内一棟目下調整場トシテ使用)
飛行場北方ニ永久的建築ノ新格納庫二棟及修理調整機関ヲ新設中ニシテ目下殆ド完成セントシツ

海軍

アリ各標共現使用ノ飛行機ナラバ少ナクモ十機ヲ
格納シ得ベシ

ハ本飛行場海岸ハ砂濱ナルヲ以テ水上機達着ニ適ス
但シ之ガ為特別ノ施設ヲ有セズ

三 訓練等

一 軍紀風紀極メテ嚴正（他ノ陸軍ト比較シ格段ノ相違アリ
ニシテ且兵員ノ執務振ヲ察シ勤勉ナル良風ヲ有スル
モノト認メ得キ

四 飛行訓練ハ毎日。九三〇ヨリ一時間乃至一時間半施
行但シ日木ノ二日ハ行ハズ
夜間飛行訓練ハ通常行ハズト謂フ

(終)

海軍

亞丁要塞調査報告(六〇四三)

一砲台

砲種

砲數

裝備箇所

記事

十五糎砲

四

ラスマールグッ上西南角項岸線附近
タールエン西南角
二門

八糎高角砲

四

タールエン西北角
二門

(禮砲用)八糎砲

四

ラスマールグット

他三門ハ必要ニ應ジ所要
地英ニ急設スルタメ準備
移動砲車ニ載架

(註)旧式小野砲四ヲ認メシモ右ハ大戦當時土耳其軍トノ交戦

記念品トシテ保存セリト謂フ、視測所ハラスマールグット上及

「タールエン」ニ各一箇所アリ(土饅頭型ミテベトンノ防禦架アリ)

ニ防備兵力

砲兵一々中隊(二六〇名内准士官以上九名) 全部白人)

隊長、砲兵中佐ニシテ亞丁駐劄行政官(陸海空軍指揮

官ヲ兼又)ノ指揮ヲ受ク

海軍

兵營ハコバラツクヒルニアリ(同兵營内ニコトニスポート六及フツト
ボルト場アリ運動ハ盛アリト)尚同兵營内ニ土人、傭人
若干、使役シ雜用ニ供シ居レリ

(註)

當地歩兵大隊ハ數年前撤退セリト謂フ

(終)

海

軍

一、水 港灣 狀況 (水路部調査、改補)

既ニ没凍ヲ終リ圖載水潭ヲ減少セル所ナレ

水先人ノ言ニヨリ港内没凍区域ハ三ノ二呎以上ナリト謂フ

(五番浮標附近ニ於テ三セ呎ノ測深ヲ得タリ)

港灣圖ハ目下英本國ニ印刷中ト事ニ近ク刊行サルル由

二、繫留法

落潮時ニハ入船繫留 漲潮時ニハ出船繫留ヲ例トスルモ

必スシモ前記ニヨラズアルコトアリ

三、給油施設

四番及ニ番浮標ニ各陸上ヨリ導キタル海底管アリテ船内

給油管ニ連結シ載油ニ供給能力毎時一〇〇噸ナリ

四、曳船料

海軍

三五留此(使用せし止入渥昔徴せらる)

(約)

海軍

補給関係事項

一、貯炭量

現在

(ナツイル) アフリカ炭 六千化

空儿ス炭 六千化 (ニードーニ)

一、淡水

Phonax Co. 美一晝夜一。化ノ逆溜力量ヲ有ス

貯水地八空ニシテ一満セナシ(降雨ア六貯水ス)

一、重油多ク

海軍用 九個 前回調査ニ同シ

英波會社用 三個 重油容量約二万四千化

一個 千セ儿用約八千化

(終)

海軍